

# 高校生活応援基金 NO.4 だよ

## 高校生活応援基金給付スタート

高校生活応援基金の今年度の給付が6月18日から始まりしました。今年度の募集は5月8日に締め切られましたが、応募総数は1699名におよび、この間の厳しい経済情勢の中で経済的に困難な状況にある生徒が増加している実態を改めて浮き彫りにしました。

### 応募、想定を大幅に上回る

6月18日から開始された給付は、応募者の中で明らかに支給基準をはずれていた場合を除く1623名に対して、指定された口座への振り込みの形で実施され、同時に各学校長宛には「高校生活応援基金の給付について」と給付決定者の生徒へ交付する「奨学金給付決定通知書」が送付されました。

### 厳しさあらためて浮き彫りに

授業料減免生徒の急増、奨学金希望者の急増などにみられるように、生徒をめぐる経済状況は、ますます厳しさを増しています。私たちがこの基金を設置した目的は、こうした厳しい環境にある生徒に対して、高校生活の中で大きな負担となりながら生活保護でも支援対象となっていない修学旅行費の一部を給付することで、こうした生徒を直接支援するとともに、改めて負担軽減の施策を県や国にとらせるための世論を喚起していこうとするものです。

4月から開始された募集では、連日保護者から相談が相次ぎ、中には「母子家庭、子ども4人、年収200万」などという厳しい経済状況を訴える相談も寄せられるなど、改めて子どもたちがおかれている厳しい実態が明らかになりました。基金としては当初3年間で給付対象者が2500人と想定しましたが、今回、想定を上回る応募があったことから、次年度以降の運営方法について、今後検討をすすめることが必要となっています。

### 退職者会総会でお礼

高校生活応援基金の設置にあたって、「県立学校退職教職員の会」（「退職者会」）の会員の皆さんに協力の要請を行ったところ、短期間の間に多額のカンパが寄せられ、6月15日現在その総額は79件101万円に達しており、引き続き寄付の申し出が続いています。

このことは、給付を受けた生徒ばかりでなく、この事業を実施している私たち現職の者にとっても、力強い励ましとなるものとして、この基金を呼びかけた神高教もさらに組合員カンパにとりくむ、としています。退職者の皆さんのあたたかい励ましに改めて、とりくみをすすめていきましょう。

